

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	佐藤 元英		
NAME	SATO Motoei		

1. 研究課題

（和文）日英開戦経緯の研究ー日泰同盟と英領マレーー

（英文）A Study On the Japan-UK Open WarーThe Japan-Thailand Alliance and British Murry

2. 研究期間

1年間（ 2018年度 ）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

研究目的

- 1、松岡（洋右）外交の東亜経済圏構想と日泰軍事同盟の関係を明らかにし、アジア太平洋戦争を対英戦争としてとらえなおす。
- 2、重光（葵）外交の大東亜会議と東アジアの新秩序構想を検討することによって、開戦前後の変容を経済史的側面から検討する。

研究の成果

当該分野の先行研究を整理し、日中戦争と南進政策の関係を明らかにすることができた。また、日本の外交文書並びにイギリス・タイ・マレーシアの国立公文書館所蔵外交文書の収集と整理により、日泰軍事同盟の成立過程とコタバルの開戦について調査することができた。

さらに、タイ・マレーシアの各種統計によって、太平洋戦争中の東アジア経済事情を明らかにすることができた。

また、研究成果の発表としては、アジア太平洋戦争は経済的日英戦争であったことを、松岡洋右および重光葵の思想と行動を分析することによって明らかにしたい。

（英文）

Purpose of research is to clarify the relationship between the East Asia Economic Area Plan on the Mastuoka Yosuke's Diplomacy for war with Britain.

I was able to investigate the formation process of Japan-Thailand military alliance, and the outbreak of war of Kota Bharu by the Japanese Diplomatic Documents and the National-Archives of British Thailand Malaysia.

Furthermore, I was able to clarify the East Asia economy situation in the Pacific War by various statistics of Thailand and Malaysia.